

# 労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局  
2014年12月10日 第12号

---

## ▲△1：「広島山岳平和祭」(11/22～26) 広島市で開催 アジア山岳連盟総会、創立20周年記念行事にあわせて

---

アジア山岳連盟(U I A A)総会、および同創立20周年記念行事にあわせて、国内各山岳団体の全国集会や広島平和記念公園での「平和祈願祭」など一連の行事が取り組まれた「広島山岳平和祭」が11月22日から26日まで開かれ、国際山岳連盟会長、駐日ネパール大使、広島市長ほか、15か国から70名以上の参加者を集めて、無事に5日間の日程を終了しました。労山からは浦添理事長、花村副理事長、川嶋事務局長、斉藤前理事長、および広島県連からも5名が参加しました。

労山は11月23日のアジア山岳連盟創立20周年記念「国際山岳フォーラム」を担当。約350名が参加し、花村副理事長が司会兼報告者として活躍しました。翌24日の宮島弥山ハイキングでは50名以上の海外からの参加者を広島県連の小形会長、安達理事長他5名がサポートして、素晴らしい紅葉を楽しんでもらいました。



国際山岳フォーラムの司会をつとめる花村副理事長(左)と、あいさつする浦添理事長(右)

---

## ▲△1：2014年 労山全国連盟「望年会」を盛大に開催 労山事務所に うたごえ喫茶ともしびがやってきた！

---



来賓もまじえ、大合唱となった

2014年労山全国連盟の望年会は、12月5日(金)午後7時から全国連盟事務所にて開催され、日本山岳協会の八木原副会長、日本山岳ガイド協会の近田事業委員長、日本ヒマラヤ協会の山森会長、HAT-Jの本木理事、新日本スポーツ連盟の和食理事長など15名の来賓や外部参加者、労山会員37名で総計52名が参加し、盛大に開催されました。

今年の圧巻は特別ゲストの中西明さんがリード

し、奥さんのたみ子さんがアコーディオン伴奏した山の歌と、有安孝浩・遭対部員が岡山県から持参した牡蠣。中西夫妻は新宿の「うたごえ喫茶ともしび」に出演し、毎年、白馬頂上山荘でも出前のうたごえを開催している「ROUSANパートナーズ」会員です。この中西夫妻の生伴奏に合わせ「岳人の歌」、「坊がつる賛歌」など山の歌で埋め尽くされ楽しいひと時を過ごしました。また、有安さんは、同じく岡山から駆けつけた全国雪崩講習会スタッフ・渡辺順子さんと協力して、事務所前で炭火により牡蠣貝を大量に焼き、アツアツでみんなにふるまってくれました。

---

### ▲△2：第17回自然保護講座 東京都奥多摩町に21名 天祖山登山でブナ林と石灰岩採掘を観察

---

今回で第17回を迎えた全国自然保護講座は、東京都連盟の主管で11月8日～9日に東京都奥多摩町日原の「やすら樹の宿 ねねんぼう」で開催され、21名が参加しました。天祖山（てんそざん 1723m）は、ブナの大木が自生する山として知られますが、実はその山で大規模な石灰石採掘がおこなわれ、豊かな環境が破壊されつつあります。その採掘の歴史と、労山が1970年代に取りく



んだ反対運動を学ぶとともに、実地観察もおこないました。初日は労山の取り組みについて鈴木貫太氏（元・労山自然保護委員長）が講演。当時、労山東京都連盟は天祖山の石灰石採掘に反対し、奥多摩・東日原で長い横断幕を岩場に掲げて登山者集会を開催したこと、しかし石灰石採掘は今も続いていることなどが紹介されました。翌日は天祖山の山容が今後どのように変化していくのか観察し、天祖山のブナ林の素晴らしさを語り継いでいくことを確認しました。

なお、「第17回全国登山者自然保護集会報告」と「南アルプスの山岳自然を貫くりニア新幹線国民の声を無視する計画の凍結を求めるアピール」を日本勤労者山岳連盟ホームページの活動紹介欄・各専門部会活動紹介に掲載しましたので、ご覧ください。  
<http://www.jwaf.jp/test/activity/working/index.html>

---

### ▲△3：. 労山会員証の更新、まだの会はお早めに

---

会員証の更新作業が順調に進んでいます。すでに全国の労山会員の約3分の2（1万3千枚）について更新発行が済みました。しかし、全国事務局には一般会員から、「旧会員証は本年12月末で期限切れとなるが、新会員証はいつ届くのか」との問い合わせ

も、まだ寄せられています。

このため、再度、会員証の更新発行についてご案内します。会員証の更新については、各加盟山岳会・ハイキングクラブに9月26日付けで「会員証の更新について」の文書を送付しています。同封されている「会員証更新一覧表」に記入し、全国連盟事務所まで郵送・FAX・メール添付でご返送ください。この「一覧表」が全国連盟に届きしだい、順次、新カードを発送します。

参考までに、会員番号の扱いについて再確認しておきます。

- ・会員番号は、新特別基金の個人番号と共通番号、会を移籍しても変更しない。
- ・退会した場合には、労山会員登録情報を削除するので、必ずFAXまたはメールで報告してほしい。書式、提出先は日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ画面右側に掲載されている。

<http://www.jwaf.jp/application/members/index.html>

---

#### ▲△4：地方ブロックの雪崩講習会 1～2月に各地で開催

---

これから雪山本番。安全登山のためには、しっかりとした事前の学習が大切です。雪山事故を未然に防ぐために、各地で実施される雪崩講習会についてお知らせします。

- 1) 関東ブロック 2015年1月17日(土)～18日(日)

<http://www.jwaf.jp/upload/info/331.pdf>

場 所 谷川岳天神平及び白毛門登山口・土合山の家周辺

- 2) 東海ブロック 2015年1月17日(土)～18日(日)

場 所 御嶽山麓(おんたけ休暇村付近・スキー場駐車場付近)

- 3) 北信越ブロック 2015年2月14日(土)～15日(日)

机上は2015年1月17日 石川総合スポーツセンター

場 所 立山山麓スキー場とその周辺

<http://iwaf.jp/>

- 4) 奥羽ブロック(青森県連盟と岩手県連盟)

(青森県連盟) 2015年2月1日(日)

場 所 梵珠山

(2014年2月の実施模様)

<http://www.aomorirousan.net/20140202nadaref.html>

(岩手県連盟) 2015年1月24日(土)～25日(日)

場 所 (岩手側) 八幡平

- 5) 近畿ブロック：2015年1月24日～25日 中央アルプス千畳敷カール周辺。

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/3063/kblknadare2014.jpg>

---

### ▲△5：植村冒険館 「北極・凍る海」の展示（入場無料）を開催中

---

植村冒険館をご存知でしょうか。たったひとり厳しい自然のなかで行動を続けた冒険家・植村直己の「ウエムラ・スピリット」を永く後世に伝えるために、1992年に（財）植村記念財団が東京・板橋区に設立したものです。財団では植村さんのご家族から譲り受けた装備や、彼の活動を伝える写真の展示をはじめ、冒険に関する図書の閲覧（情報コーナー）や自然を体験する事業（自然塾）などを行っています。今回は「北極・凍る海」と題して本年10月31日から来年1月21日まで開催中で、入場無料です。一度、足を運んではいかがでしょうか。

詳細はこちらです。<http://www.uemura-museum-tokyo.jp/tenji.html>

---

### ▲△6：登山届けの義務化 岐阜県は条例施行 長野県は検討中 御嶽山の噴火を機に、拡大の動き

---

岐阜県では、槍～穂稜線など北アルプスの遭難多発区域について、登山届け義務化をこの12月1日から施行しました（メールニュース10号—10.1付）。条例には御嶽山が含まれていませんでしたが、その後の噴火で、県は御嶽山も適用区域に加えた条例改定案を12月の県議会に提出予定です。可決されれば、来春からの実施となる見込み。長野県も11月から専従職員を配置し、有識者による条例案の検討を進める動きがあります。長野県の阿部知事は、「御嶽山の教訓を生かすことが大事で、作るなら全ての山が対象だ」と語っています。また、静岡県県の川勝知事は富士山噴火を想定した訓練後の記者会見で、「噴火に備え登山届けを出してもらうのは当然。条例化を含めて山梨側と検討する」と発表しました。新潟県の奥田知事も新潟焼山などを想定し条例化の検討を明らかにしました。

こうした動きを私たちがどう見るべきか、日本勤労者山岳連盟としても論議を深めて行きましょう。

---

### ▲△7：第1回 「吉備路の山 全山縦走大会」の参加者募集中

---

「ファミリーから上級者まで「里山登り」を楽しめる新コース 吉備路を歩いて魅力再発見！」を掲げて、来年2015年3月15日（日）に第1回「吉備路の山全山縦走大会」が開催されます。主催は、労山元会長の守屋益男さんが実行委員長をつとめる「吉備路の山 全山縦走大会実行委員会」、労山岡山県連が後援します。

このルートは、守屋益男さんが構想したもの。守屋さんが中心になって作成した「鬼ノ城山塊登山詳細図」と「吉備路の山登山詳細図」の2枚の地図を眺めるうちに、コースの全体像がひらめいたと言います。昨年11月中旬には、2枚を合わせて鬼ノ城から吉備中山までの縦走ルートを紹介した「吉備路の山全山縦走図」が完成しました。同地図はオールカラーで、雨にぬれても破れにくい紙を使用しています。

大会当日は、全山縦走コースを2回完歩したスタッフ約100名がコース上で誘導。標識を130枚作り、コース上に設置し、参加者の安全を確保する予定です。「初めて自分で歩いたコースは、それだけで『新記録』です。登り切った達成感を感じられると、喜びが大きいですよ」「約35kmの全山縦走コースは、日の出から日没まで12時間程度で歩けます。初心者の方は事前に地図を購入して、よくコースを勉強しておくことと、足ならしをしておくこと。途中、眺望の良い所や史跡、神社仏閣を巡ることができます。春の登山を楽しみながら、吉備路の良さを発見してみてください」と守屋さんは話しています。

開催要項はこちら

[http://www.jwaf.jp/activity/province/data/2014/141020\\_06.pdf](http://www.jwaf.jp/activity/province/data/2014/141020_06.pdf)

申込みはこちら [http://www.jwaf.jp/activity/province/data/2014/141020\\_07.pdf](http://www.jwaf.jp/activity/province/data/2014/141020_07.pdf)

